

教会学校コーナー

きょうは、5月10日のにちようび。ふかつせつのだい5の^{しゅじつ}主日です。

きょうかいがっこうのみなさん、せんしゅうのはなしをおぼえていますか。イエスさまのこえがきこえましたでしょうか。どうでしたか。

きょうのふくいんしよは^{すこ}少しむずかしいかもいりません、かぞくといっしょによんでみましょうね。

ヨハネ14. 1～12

イエスさまは「**こころをさわがせるな、かみをしんじなさい、そしてわたしをもしんじなさい。**わたしの父のいえにはすむところがたくさんある、わたしはあなたがたのためにばしよをよういしにいく。
そのとき、ひとりのでしであるトマスがイエスさまにいった。「しゅよ、どこへいかれるのですか、わたしたちには、わかりません、どうしてそのみちをしることができるのでしょうか」

イエスはいわれた「わたしはみちであり、しんりであり、いのちである。わたしをとおうなければだれも父の^{ちち}もとにいくことができない」

イエスさまは「みち」であると、きいたら、あたまになにがうかできますか。やまのぼりしたことがあるひとは、やまみちにあんないをしらせてくれるかんぱんがあつたのをおもいだしてみましよう、なにがかいてありましたか。

_____、_____、_____。

イエスさまごじしんが「みちである」というのはかみさまのくににいくことができるように、イエスさまがみちのやくめをしてくださっています。イエスさまがしめしてくださるみちをちゃんとあるけば、なんにもこわくもないし、しんぱいも、またこころのなかによろこびもかんじることができます。イエスさまは、わたしたちになにをすればよいかをいつもおしえてくださっています。たとえば：「おともだちとけんかして、どうして

もなかなおりできない」となったとき、「なかなおりしてね」と^{こころ}心のなかにイエスさまのこえをきこえたら、それは、イエスさまがおしえてくれる「みち」です。

じぶんに、「～～してくれる」と、たのまれたら、「いや」といわないで、たのまれたことをよろこんでできる

のは、イエスさまの^{ちから}力があるからです、それも、イエスさまがおしえてくれる「みち」です。

むずかしいでしたか、イエスさまはわたしたちといつもいっしょにいてくださっているのです、イエスさまとおはなししましょうね。

きょうは、^{はは}^ひ「母の日」ですね。

まいにちかぞくのためにがんばってくださいとお母さんのために「アベ・マリア」のいのりして、「ありがとう」といいたいましょうね。

ほかに、なにかしてあげられることはありませんか。やってみましょう。